

令和6年度政務活動のあらまし

品川区議会自民党・無所属の会

幹事長 まつざわ和昌

品川区議会自民党・無所属の会では、政策提案に向けた調査研究、現場でのヒアリングや意見交換、区民の声を反映する相談対応、議会活動の広報など、日々の政務活動に取り組んでいます。

私たちは「区民に寄り添う議会」として、昼夜を問わず現場主義を貫いてまいりました。

令和6年度は、コロナ禍からの回復が本格化し、地域行事や区主催イベントが以前の活気を取り戻しつつある一方で、引き続き物価高騰や国際情勢の不安定化といった課題が、区民生活に深刻な影響を与えています。

このような情勢を踏まえ、私たちは、区民や各種団体とのヒアリングを繰り返し行い、区長に対し、たくさんの政策要望を行って参りました。

主な政策要望・提案において。

物価高騰対策と子育て支援については、給食費の無償化の継続、森澤区長の下で速やかに実現した無償化を、今後も持続可能な形で継続するよう求め、住民税非課税世帯等への給付金、子育て世帯生活支援特別給付金、ひとり親世帯臨時特別給付金、省エネルギー対策・業務改善設備更新助成金、保育所等物価高騰対策支援金、など、国や都と連携した給付や助成金を素早く皆さまにお繋ぎすることができました。

また、専属助産師の伴走型サポート、民間公衆喫煙所設置・維持に関する助成の拡大、中等度難聴者補聴器購入費助成の拡大、73（ナナサン）歯科健診の実施、区内4公園に可動式ドッグランを設置、など、団体とのヒアリングや視察を通して予算化することができました。

防犯・防災については、23区初となるトイレトラックの導入の実現を始め、高齢者・障害者世帯家具転倒防止器具設置助成の充実、災害時在宅避難のためのマンション防災推進、密集法を活用した燃えにくいまちづくりの推進、木造住宅耐震加速化パッケージで耐震化を促進、品川区住まいの防犯対策補助金（防犯カメラ等の助成金を上乗せ）など、皆様の声を予算に繋げることができました。

教育については、スクールカウンセラーやSNS相談の拡充による不登校支援、中学校標準服(制服)を所得制限なく無償化、中学校修学旅行費を所得制限なく無償化、所得制限のない給付型大学奨学金の実施、私立幼稚園保護者補助金の充実、円滑な就学に向けた5歳児健康診査事業のモデル実施、オアシスルームの利用対象を拡大、など、子育て中の議員を多く抱える会派として、力を入れてきた分野であります。

区議会の動きを区民の皆さまにわかりやすく伝える広報活動は、私たち自民党の最重要課題の一つです。令和6年度も本会議ごとにレポートを作成し、予算要望や重要な政策決定にあわせて特集号を発行・配布いたしました。

今後も「わかりやすく、身近な品川区議会」を目指し、現場主義と情報発信を重視した政務活動を続けていくこととお約束し「政務活動のあらまし」の報告とさせていただきます。